

Press Release

2018年6月11日

報道関係各位

バイオトロニックジャパン株式会社

エデュケーション&イノベーションセンター開設のお知らせ

バイオトロニックジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：ジェフリー・アニス）は、2018年5月、東京都渋谷区恵比寿に「エデュケーション&イノベーションセンター」を開設しました。当センターは、医療従事者を対象とした、最新かつ多様な教育プログラムおよびサービスを提供していくと共に、有意義な情報交換の場としてご利用いただくことを目的に開設されました。

先進医療テクノロジーを駆使した医療機器のニーズに応え、教育プログラムを通じて安全で適切な自社製品の使用方法を医師に周知することは、弊社の使命です。また弊社は、医師のみならず、医療機関で患者様を支援しているコメディカルスタッフにも焦点を当てて、ホームモニタリングの効果的な運用法を確立するための教育プログラム等を提供していく予定です。当センターは、CRM領域およびVI領域の最新型バーチャル・シミュレーターを有し、加えて最新型テレビ電話会議システムを備えて、日本の医療従事者と世界中のBIOTRONIK社員の情報交換を可能にします。当センターの開設について、藤田保健衛生大学 循環器内科 教授 渡邊英一先生は、「バイオトロニックジャパンは、遠隔医療の重要性を十分認識した上で、医師やコメディカルの知識向上を図り、患者の総合ケアを改善させる素晴らしい施設を開設しました。今後も引き続き、日本の医療発展のために尽力して欲しいと思います。」と述べています。また、バイオトロニックジャパン株式会社 代表取締役のジェフリー・アニスは、「弊社の新しいエデュケーション&イノベーションセンターは、2つの重要な役割を果たします。1つは、市場をリードする自社テクノロジーに関する研修の機会を提供すること。もう1つは、将来的なイノベーションのための研究開発について、日本の医療従事者が直接意見できるような機会をもたらします。」と述べています。

医療機器テクノロジーにおけるヨーロッパ企業のリーダーとして、弊社は当センターで価値ある教育プログラムやサービスを継続して提供するとともに、医療従事者の満足度が向上する施設となるように鋭意努めてまいります。

BIOTRONIK社について

BIOTRONIK社は世界を代表する心臓血管関連の医療機器製造業者の1つで、ドイツのベルリン本社をはじめとして全世界に5,600人以上の従業員を抱え、100を超える国と地域で事業展開し、数百万個の機器の植込み実績を誇っています。1963年にドイツ初の植込み型心臓ペースメーカを開発して以来、BIOTRONIK社は、市場にいくつものイノベーションを発表してきました。その代表的なものとして、2000年に米国で導入された世界初の心臓植込み型デバイスの遠隔モニタリングシステムであるBIOTRONIK Home Monitoring®や、2012年に欧州で認可された世界初の条件付きMRI対応植込み型除細動器および同両室ペーシング機能付き植込み型除細動器などがあります。

バイオトロニックジャパン株式会社について

バイオトロニックジャパン株式会社は、ドイツ・BIOTRONIK社の心疾患治療技術をいち早く日本に導入するため、2003年10月に日本バイオトロニック株式会社として設立された日本法人です。2005年9月にバイオトロニックジャパン株式会社と改名しました。バイオトロニックジャパン株式会社は、“Designed for Japan, Made in Germany”を基本姿勢とし、日本の患者様の生活の質の向上をめざし、ドイツ本社の高い技術力とともに、日本の医療従事者のニーズを反映した製品をお届けしています。

<http://www.biotronik.jp>

(本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先)

バイオトロニックジャパン株式会社
マーケティング部 CRMプロダクトグループ
シニアマネージャー
小霜 彰

Tel: 03-3473-7476

akira.koshimo@biotronik.com

